



手 続 補 正 書  
(法第11条の規定による補正)



特許庁審査官 河原 正 殿

1. 国際出願の表示 PCT/J P 2005/003224

2. 出願人

名称 スカラ株式会社  
SCALAR CORPORATION

あて名 〒173-0004  
日本国東京都板橋区板橋二丁目10番地5号  
10-5, Itabashi 2-chome, Itabashi-ku,  
Tokyo 173-0004, JAPAN

国籍 日本国 JAPAN

住所 日本国 JAPAN

3. 代理人

氏名 (10860) 弁理士 村松 義人  
MURAMATSU Yoshihito



あて名 〒105-0014  
日本国東京都港区芝三丁目22番7号  
芝NKビル4階  
Shiba NK Bldg. 4th Floor  
22-7, Shiba 3-chome, Minato-ku,  
Tokyo 105-0014, JAPAN

4. 補正の対象 請求の範囲

## 5. 補正の内容

(1) 請求の範囲第 5 項に記載の発明は、出願時において請求の範囲第 4 項を引用していた請求の範囲第 5 項を独立形式請求項に書換えたものである。

(2) 請求の範囲第 6 項に記載の発明は、出願時において請求の範囲第 4 項を引用していた請求の範囲第 6 項を独立形式請求項に書換えたものである。

(3) 請求の範囲第 1 2 項に記載の発明は、出願時において、請求の範囲第 1 0 項、及び第 1 1 項を介して請求の範囲第 9 項を引用していた請求の範囲第 1 2 項を独立形式請求項に書換えたものである。

(4) 請求の範囲第 1 ～ 4 項、第 7 ～ 1 1 項は削除された。

(5) 請求の範囲第 7 ～ 1 1 項を削除することにより、請求の範囲第 2 7 頁、及び第 2 8 頁は削除された。

## 6. 添付書類の目録 (1) 請求の範囲第 2 4 頁～第 2 6 頁

## 請 求 の 範 囲

1. (削除)

2. (削除)

5 3. (削除)

4. (削除)

5. (補正後) 使用者の身体に装着可能な本体を備えており、使用時に使用者の身体に装着して用いられる画像表示装置であって、

10 前記本体には、当該画像表示装置の使用時に使用者の一方の目の前に位置するものであり、所定の画像の像光を前記一方の目に導くことによって、当該一方の目の視野の一部である表示範囲に存在するような状態で当該一方の目で前記画像を見られるようにする表示手段が設けられているとともに、

前記表示手段は、前記本体が使用者の身体に装着された場合の上下方向に揺動できるようにして、前記本体に設けられており、

15 且つ、それを身体に装着した使用者は、少なくとも視線を動かせば、両方の目で外界を見られるように構成されているとともに、

前記表示手段は、前記画像を表示するディスプレイと、前記ディスプレイからの像光を前記使用者の前記一方の目に導く光学系とを備えるとともに、その光学系の少なくとも一部を収納するものとされ、且つ前記画像表示装置の使用時に前記一方の目に向かう方向に突出するようにされた鏡筒を備えており、

且つ、前記鏡筒の先端部分を中心として前記揺動が行われるようになっている、画像表示装置。

6. (補正後) 使用者の身体に装着可能な本体を備えており、使用時に使用者の身体に装着して用いられる画像表示装置であって、

25 前記本体には、当該画像表示装置の使用時に使用者の一方の目の前に位置するものであり、所定の画像の像光を前記一方の目に導くことによって、当該一方の目の視野の一部である表示範囲に存在するような状態で当該一方の目で前記画像を見られるようにする表示手段が設けられているとともに、

前記表示手段は、前記本体が使用者の身体に装着された場合の上下方向に揺動

できるようにして、前記本体に設けられており、

且つ、それを身体に装着した使用者は、少なくとも視線を動かせば、両方の目で外界を見られるように構成されているとともに、

前記本体には、平行な上下2本の棒体が設けられており、

- 5 且つ前記表示手段はケースに収納され、且つこのケースの上面には前記棒体のうち上側のものと嵌り合う1本の上溝が設けられているとともに、前記ケースの下面には前記棒体のうちの下側のものと当接する鞍状の凸面である凸曲面が設けられており、

- 10 前記上溝に前記2本の棒体のうちの上側のものを嵌め合わせた状態で、前記2本の棒体のうちの下側のものを前記凸曲面に沿って摺動させることで、前記揺動が行われるようになっている、

画像表示装置。

7. (削除)

8. (削除)

- 15 9. (削除)

10. (削除)

11. (削除)

12. (補正後) 使用者の身体に装着可能な本体を備えており、使用時に使用者の身体に装着して用いられる画像表示装置であって、

- 20 前記本体には、当該画像表示装置の使用時に使用者の一方の目の前に位置するものであり、所定の画像の像光を前記一方の目に導くことによって、当該一方の目の視野の一部である表示範囲に存在するような状態で当該一方の目で前記画像を見られるようにする第1の表示手段と、当該画像表示装置の使用時に使用者の他方の目の前に位置するものであり、所定の画像の像光を前記他方の目に導くこ  
25 とによって、当該他方の目の視野の一部である表示範囲に存在するような状態で当該他方の目で前記画像を見られるようにする第2の表示手段と、が設けられているとともに、

前記第1の表示手段と、前記第2の表示手段とはともに、前記本体が使用者の身体に装着された場合の上下方向に揺動できるようにして、前記本体に設けられ

ており、

且つ、それを身体に装着した使用者は、少なくとも視線を動かせば、両方の目で外界を見られるように構成されているとともに、

5 前記本体は、その先端を使用者の両耳に係止させることで使用者の両耳に固定される、略棒状にされた2つのつると、それらつるの基端とその両端を接続されており、前記2つのつるの先端を使用者の両耳に係止したときにその使用者の顔の前方に位置するものであり、前記第1、及び第2の表示手段が設けられたフレームと、を備えており、

10 前記2つのつるはともに、その基端部分と、先端部分とが接続部材で接続された別部材とされているとともに、その接続部材を回動の軸として、前記基端部分を、前記先端部分に対して回動させられるようにすることにより、その基端部分と、先端部分とがなす角度が可変となるようにされており、

15 前記2つのつるの前記基端部分と、前記先端部分とのなす角度を変化させることで、前記第1、及び第2の表示手段は、前記本体が使用者の身体に装着された場合の上下方向に揺動できるようになっており、

20 前記第1、及び第2の表示手段はともに、前記画像を表示するディスプレイと、前記ディスプレイからの像光を前記使用者のその表示手段が対応する側の目に導く光学系とを備えるとともに、その光学系の少なくとも一部を収納するものとされ、且つ前記画像表示装置の使用時に前記対応する側の目に向かう方向に突出するようにされた鏡筒を備えており、

且つ前記2つのつるを側面から見た場合、前記接続部材2つと、前記鏡筒の先端部分とが、一直線上に位置するようになっている、

画像表示装置。